

# 速水小学校からの報告

活動団体名： 速水小学校 4 年生

活動人数： 35 人（教員 2 名）

取組時間：総合の時間

## 調査内容 1回目：6月17日（金） 丁野木川支流 晴れ

速水小学校付近の丁野木川で、虫取り網や金網ザルを使って指標生物を採取しました。まず初めに講師の八木先生から注意事項や生物の取り方などを学習しました。その後、川に移動し実際に採取活動を行いました。初めは、川や生き物に抵抗があり中々取り組めなかった児童もやっていくうちに夢中になって取り組むことができていました。学校に戻って、採れた生き物を仕分ける活動に入りました。とても小さな生き物が多いので児童はピンセットや金魚すくい網を使いながら仕分けました。生き物の名前も、事前にもらった下敷きを使って調べることが出来ました。仕分けると 18 種類もの生き物を見つけられた班がありました。この数は講師の八木先生によると今までで最高の数ということでした。活動を終えて、「もっとしたかった！」という児童が多くとても良い経験になったと思います。



## 調査員の感想

- 目で見るとあまり生き物は見えなかったけど、網でとってみたらいっぱい生き物や魚が取れていたからびっくりした。
- 住んでいる生き物で水のきれいさが分かるなんて初めて知ったし、本当に色々な生き物が取れてこの川にはとてもたくさんの生き物がいるんだなあと思いました。
- 最初、水が長ぐつに入って嫌だなと思っていたけれど最後になると「もっとしたい！」という気持ちの方が強くなっていました。

## 捕まえた生き物たち

ガガンボ、サワガニ、ウズムシ、トビケラ、カゲロウ、カワニナ、サホコカゲロウ、ヒル、ミズムシ、赤いユスリカ、イトミミズ

## 調査のまとめ

比較的きれいな川に住んでいるガガンボやヘビトンボ、サワガニなどが多く見られました。この結果から、丁野木川はきれいであるということがわかりました。また、パックテストを行った結果、COD 値は昨年度と同じで 4 という結果になりました。見た目ではなかなか汚れの状況は分かりませんが、指標生物やパックテストで調べることで、はっきりと数値化されてわかるということを子どもたちは知ることができました。

指標となる生き物は、意識的に探さないといけないほどの小ささですが、探し始めると驚くほど多様な生き物たちがいることがわかり、子どもたちも夢中になって活動に取り組むことができました。

子どもたちが水生生物調査を通して環境問題について、興味を持つ良い活動になりました。



# 活動の様子



【6月17日 事前説明の様子】



【活動の様子】



【仕分けの様子】



【まとめの様子】



【丁野木川のドンコ】

